# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Spot-Cap™ and Peptide (Alpaca)
製品番号 : ECA-EP （メーカー略号: PGI）
構成品名 : Spot-Cap
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性
引火性液体：区分 3
健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B
発がん性：区分 1A
生殖毒性：区分 1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（肝臓）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2（中枢神経系）
GHSラベル要素

注意喚起語：危険
危険有害性情報
引火性液体及び蒸気
眼刺激
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）
注意書き
安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

慣用名・別名 : エチルアルコール

| 成分名 | 含有量(%) | CAS RN® | 官報公示整理番号 |
|---|---|---|---|
| エタノール | 20 | 64-17-5 | 2-202 |

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分　エタノール

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。直ぐに多量の水を飲む。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋、保護眼鏡、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する。(眠気、めまいのおそれがある)

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

汚染箇所を多量の水で浄化する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

（火災・爆発の防止）

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

4℃で保存すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。

安全な容器包装材料

データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 ： データなし

許容濃度

（エタノール）

ACGIH(2008) STEL: 1000ppm（上気道刺激）

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱うこと。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 懸濁液
色 : 白色/無色
臭い : データなし
融点/凝固点 : データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : データなし
水に対する溶解度 : 不溶
溶媒に対する溶解度 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度/相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、紫外線、熱

混触危険物質

酸化性物質、還元性物質、酸、アルカリ

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

## 11. 有害性情報

急性毒性 : データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

（エタノール）
ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
cat.1A; (IARC, 2010)
（エタノール）
IARC-Gr.1 : ヒトに対して発がん性がある
（エタノール）
ACGIH-A3(2008) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
生殖毒性
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012
催奇形性 : データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
[区分1]
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)
[区分2]
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)
誤えん有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性　短期(急性)
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)
水生環境有害性　長期(慢性)
[日本公表根拠データ]
（エタノール）
甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)
水溶解度
（エタノール）
混和する (ICSC, 2000)
残留性・分解性
（エタノール）

急速分解性あり (BODによる分解度：89% (既存点検, 1993))

生体蓄積性

(エタノール)

log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)

土壌中の移動性 ： データなし

オゾン層への有害性 ： データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従ってリサイクルまたは安全に廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 ： 非該当

注意事項　輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類) エタノール

国内規制がある場合の規制情報 ： 非該当

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 ： 非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物　エタノール(別表第9の61)

名称等を通知すべき危険/有害物　エタノール(別表第9の61)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係) 危険物・引火性の物 (30℃ <= 引火点 < 65℃)

化学物質管理促進(PRTR)法 ： 非該当

消防法 :非該当

化審法 ： 非該当

## 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Spot-Cap™ and Peptide (Alpaca)
製品番号 : ECA-EP （メーカー略号: PGI）
構成品名 : Spot-Peptide
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

GHSラベル要素

該当しない

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
成分 : Peptide (Molecular weight: 1396.53 g/mol)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。直ぐに多量の水を飲む。意識のない者には何も口から与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。汚染箇所を多量の水で浄化する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。

4℃で保存すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。

安全な容器包装材料

データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : データなし

許容濃度 : データなし

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では要求されていない。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 凍結乾燥品（粉末）

色 : データなし

臭い : データなし

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性（ガス、液体及び固体） : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 該当なし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : 該当なし
水に対する溶解度 : 可溶
溶媒に対する溶解度 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度/相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : 該当なし
粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性
　　データなし
化学的安定性
　　通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
　　データなし
避けるべき条件
　　直射日光、紫外線、熱
混触危険物質
　　酸化性物質、還元性物質、酸、アルカリ
危険有害な分解生成物
　　炭素酸化物

## 11. 有害性情報

急性毒性 : データなし
局所効果
　皮膚腐食性/刺激性 : データなし
　眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露) : データなし
誤えん有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
　　内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
　　地方/国の規則に従ってリサイクルまたは安全に廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 ： 非該当

注意事項　輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報 ： 非該当

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 ： 非該当
労働安全衛生法 ： 非該当
化学物質管理促進(PRTR)法 ： 非該当
消防法 ： 非該当
化審法 ： 非該当

## 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
Supplier's data/information
ICSC　国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。